

事業報告書

1 法人の概要

(1) 基本情報

名 称 学校法人呉竹学園
所 在 地 東京都新宿区四谷三栄町 16 番 12
電話番号 03 (5362) 3776 FAX 03 (3351) 9051
ホームページ <https://www.kuretake.ac.jp/gakuen/>

(2) 建学の精神

伝統的治療技術の伝承と普及のため、東洋医学教育の確立と学術の振興を以て国民医療に資する。

(3) 学校法人の沿革

年 月	区 分	沿 革
1926. 10	東京校	「東洋温灸医学院」創立
1931. 10	東京校	私立学校令により「東京高等鍼灸医学校」として認可
1948. 12	法 人	文部省令により「財団法人東京高等鍼灸医学校」として認可
1949. 9	東京校	厚生大臣により鍼灸マッサージ師養成施設として「東京高等鍼灸学校」認可
1954. 3	熱海校	「東京高等鍼灸学校熱海分校」設立
1955. 5	熱海校	「呉竹マッサージ学校」と改称
1956. 10	法 人	東京都知事より、財団法人を改組し「学校法人呉竹学園」として認可
1973. 9	熱海校	「呉竹鍼灸専門学校」と改称
1976. 9	東京校	専修学校（専門課程）として認可され「東京鍼灸柔整専門学校」と改称
1976. 9	熱海校	専修学校（専門課程及び高等課程）として認可
1986. 4	東京校	「東京医療専門学校」と改称
2002. 4	横浜校	熱海校を新横浜に位置移転、「呉竹鍼灸柔整専門学校」と改称
2009. 4	大宮校	「呉竹医療専門学校」設立
2014. 3	全 校	設置する全課程において「職業実践専門課程」として認可
2024. 4	東京校	「東京呉竹医療専門学校」と改称
2024. 4	横浜校	「横浜呉竹医療専門学校」と改称
2024. 4	大宮校	「大宮呉竹医療専門学校」と改称

(4) 設置する学校・学科の学生数の状況

(令和7年5月1日現在)

学校名	学科名	入 定 学 員	収 容 定 員 数	入 学 者 数	現員数	
東京呉竹医療専門学校	鍼灸マッサージ科 I 部	60	180	60	162	
	鍼灸科 I 部	30	90	30	81	
	鍼灸科 夜間特修	30	90	11	40	
	柔道整復科 I 部	60	180	34	97	
	鍼灸マッサージ教員養成科	25	50	28	56	2年課程
横浜呉竹医療専門学校	鍼灸マッサージ科午前コース	30	90	30	87	
	鍼灸マッサージ科午後コース	40	120	39	105	
	鍼灸科 特修コース	30	90	22	69	
	柔道整復科 午前コース	60	180	36	116	
	柔道整復科 特修コース	30	90	0	18	
大宮呉竹医療専門学校	鍼灸マッサージ科 I 部	60	180	50	134	
	鍼灸科 II 部	30	90	30	67	
	柔道整復科 I 部	60	180	58	141	
	柔道整復科 II 部	30	90	4	36	

(5) 収容定員充足率

(令和7年4月1日現在)

学校名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
東京呉竹医療専門学校	70.0%	72.3%	69.2%	75.4%	75.4%
横浜呉竹医療専門学校	76.3%	76.6%	73.3%	70.8%	69.2%
大宮呉竹医療専門学校	69.5%	77.6%	78.8%	69.2%	70.0%

(6) 役員の概要 (令和7年6月1日現在)

定員数 理事 7名 監事 2名

理事長	坂本 歩	監事	永山 浩 (非常勤)
常任理事	坂本 貢洋	監事	牛込 信喜 (非常勤)
理事	齊藤 秀樹		
理事	村上 哲二		
理事	下光 輝一 (非常勤)		
理事	天野 景裕 (非常勤)		
理事	根本 学 (非常勤)		

(7) 評議員の概要 (令和7年6月1日現在)

定員数 8名

評議員	小川 眞悟	評議員	金谷 義孝
評議員	佐久間 裕之	評議員	福島 聡一郎
評議員	古屋 英治	評議員	横瀬 稔
評議員	村瀬 訓生	評議員	建石 泰三

(8) 理事選任機関の概要

理事選任機関は、全ての評議員で構成する評議員会とする。

区 分		法人本部	東京呉竹医療 専門学校	横浜呉竹医療 専門学校	大宮呉竹医療 専門学校	呉竹メディカル クリニック	合 計
教員	本務		23	23	24		70
	兼務		66	32	24		122
職員	本務	7	12	7	8	12	46
	兼務					10	10

2 事業の概要

(1) 主な教育の概要 (東京呉竹医療専門学校)

① ディプロマ・ポリシー (卒業認定・称号授与の方針)

教育目標である「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師及び柔道整復師として十分な知識・技術・臨床力を身につけ、柔軟な思考力を持った全人的な医療を施すことができる懐の深い医療人」として社会に出て活躍するために、本学が定める所定の単位を修得し、次の能力を身につけた者には卒業を認定し、「専門士（医療専門課程）」の称号を授与する。

- (ア) 患者の安全性を第一に考えて行動し、説明責任を果たすことができる。
- (イ) 医療従事者として幅広い教養と高い倫理観を備え、遵法精神に立脚した行動を取ることができる。
- (ウ) 個人の尊厳を理解し、多様な価値観を受け入れる寛容な心とホスピタリティーの精神に基づいて自発的にこうどうできる。
- (エ) 専門知識、技術及び判断力を身につけ、患者に対して適切な施術を行うことができる。
- (オ) 地域の包括的な医療において、他職種のことを理解し、協調して自己の役割を果たすことができる。
- (カ) 施術における問題解決能力を有し、患者貢献のために使命感と向上心を持って、生涯に渡り自己研鑽できる。

② カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

教育目標を達成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成するとともに、実施にあたっては、学習成果基盤型教育（アウトカム基盤型教育）により、ディプロマ・ポリシーに定める実践的能力を獲得させる。

- (ア) 教育課程において、卒業時に身につける能力を明示するとともに、学年毎に到達目標を定め、達成度（習熟度）については、科目毎に定点的形成評価を行い、単位の認定にあたっては総括的評価を行う。
- (イ) 教育内容は、学則の定めるところにより、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の領域に区分し、授業科目毎に一般目標を定め、知識及び技術を体系的に修得できるカリキュラムとする。
- (ウ) 基礎分野においては、リベラルアーツとして基礎教養を身につけるために、科学的思考の基礎及び人間と生活に関わる科目を設置する。
- (エ) 専門基礎分野においては、医学の基礎となる正常な人体の構造と機能、疾病や障害、社会保障制度や倫理等に関する科目を配置する。
- (オ) 専門分野においては、あん摩マッサージ師、はり師、きゅう師、柔道整復師のそれぞれに必要な専門領域の知識及び技術を修得するための専門科目を設置する。
- (カ) 臨床実習を通して、施術を行うために必要な態度、姿勢、コミュニケーション能

力を醸成し、知識と技術の融合を図る。

③ アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

建学の理念に基づき、社会の信頼を得て、医療衛生福祉の幅広い領域で貢献できる医療人を育成するため、以下に該当する人材を求める。

(ア) 他者に対する理解、思いやり、共感、尊重に基づいた行動ができる人

(イ) 医療従事者として、高い倫理観と明確な目的意識を持ち、医療に貢献できる人

(ウ) 人々の健康に資するため、探究心を持って行動し、主体的な学習に努力を惜しまない人

(2) 中期計画

本学創立100周年に向かい「十分な知識・技術を持ったうえで、柔軟な思考の出来る懐の深い医療人を育成する」とした教育目標に加え、職業実践専門課程として社会ニーズに即した職業教育を充実させ、伝統医療を取り巻く環境の変化に充分に対応できる人材、社会に貢献する優秀な人材の育成に向けて教育の刷新を行う。

（令和5年度～令和8年度）

- ① 国家試験合格率の維持・向上
- ② 退学率の逡減
- ③ 定員充足率の向上
- ④ 内部統制の充実・PDCAサイクルの確実な実施
- ⑤ 第三者評価の受審
- ⑥ オンラインを活用する教育などITC教育の質の向上・方法論の検討及び実施
- ⑦ 外部臨床実習の質の向上、施設数・種別の拡大
- ⑧ 学校法人制度改革への対応・体制整備
- ⑨ 人事評価制度の運用と活用
- ⑩ 学内業務のデジタル化・変革（DX）
- ⑪ 学園のブランディングを明確にする校名変更を行う
- ⑫ 100周年記念事業の実施
- ⑬ 施設整備

東京呉竹医療専門学校 四谷本部校舎竣工使用開始・1号館・2号館・5号館改修
横浜呉竹医療専門学校 ロスナイ設備更新（3ヶ年計画）
大宮呉竹医療専門学校 空調・ロスナイ設備更新（4ヶ年計画）

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

所在地	施設等	面積等	取得価額	簿価価額	摘要
新宿区四谷三栄町	校 地	3,166.41 m ²	3,557,178 千円	3,557,178 千円	
	校舎4棟	7,589.63 m ²	5,514,093 千円	5,020,710 千円	本・1・2・3号館
新宿区四谷2丁目	校 地	169.12 m ²	888,999 千円	888,999 千円	
	校 舎	1,454.58 m ²	722,846 千円	535,753 千円	5号館
港北区新横浜2丁目	校 地	661.00 m ²	492,600 千円	492,600 千円	

	校 舎	5,427.70 ㎡	1,252,345 千円	545,371 千円	
大宮区桜木町 1 丁目	校 地	1,521.00 ㎡	1,031,500 千円	1,031,500 千円	
	校 舎	5,903.93 ㎡	3,257,546 千円	1,816,828 千円	

② 令和 6 年度の主な施設設備の取得又は処分の状況

四谷校舎（本部校舎）本館の新築工事竣工ののち、四谷校舎 1 号館・5 号館の改修工事を行い、代々木校舎で実施していた柔道整復科、教員養成科を移設している。
代々木校舎の土地・建物は、令和 6 年 1 2 月に売却引渡を行っている。
横浜校舎のロスナイ設備更新計画第 3 期工事及び高圧ケーブル更新工事を完了している。
大宮校舎の空調換気設備更新計画第 2 期工事を完了している。

3 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

(ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位:千円)

項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
固定資産	18,852,964	19,311,803	20,146,374	23,045,558	19,542,478
流動資産	7,121,929	6,108,191	5,867,293	2,460,734	3,415,919
資産の部合計	25,974,893	25,419,994	26,013,667	25,506,292	22,958,397
固定負債	381,437	319,394	954,962	787,963	612,101
流動負債	674,344	895,692	814,955	865,461	757,493
負債の部合計	1,055,781	1,215,086	1,769,917	1,653,424	1,369,594
基本金	19,046,369	18,041,486	18,378,622	21,126,796	16,970,374
繰越収支差額	5,872,743	6,163,422	5,865,128	2,726,072	4,618,429
純資産の部合計	24,919,112	24,204,908	24,243,750	23,852,868	21,588,803
負債及び純資産の部合計	25,974,893	25,419,994	26,013,667	25,506,292	22,958,397

(イ) 財務比較の経年比較

(単位: %)

項目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
運用資産余裕比率	292.9	254.0	246.0	125.2	179.4
流動比率	1,056.1	682.0	720.0	284.3	451.0
総負債比率	4.8	4.1	6.8	6.5	6.0
前受金保有率	1,027.3	1,048.4	984.5	493.3	660.4
基本金比率	98.7	98.4	94.5	95.5	95.9

② 事業活動収支計算書関係

(ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

科目		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
教育活動収支	教育活動収入の部					
	学生生徒等納付金	1,882,120	1,932,270	1,928,700	1,854,770	1,738,200
	手数料	16,152	16,282	16,645	15,642	14,155
	寄附金	2,135	2,548	0	92	0
	経常費等補助金	78,739	82,684	84,018	84,835	84,055
	付随事業収入	75,562	89,398	88,354	90,031	87,388

	雑収入	64,488	70,397	75,157	49,332	111,197
	教育活動収入計	2,119,196	2,193,579	2,192,874	2,094,702	2,034,995
	教育活動支出の部					
	人件費	1,183,013	1,181,109	1,167,760	1,177,752	1,154,932
	教育研究経費	866,961	1,002,994	738,389	700,124	720,899
	管理経費	234,915	320,794	269,543	241,731	308,679
	徴収不能額等	935	4,180	4,565	1,125	2,533
	教育活動支出計	2,285,824	2,509,077	2,180,257	2,120,732	2,187,045
	教育活動収支差額	△166,628	△315,498	12,617	△26,030	△152,049
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	31,419	38,570	29,187	29,379	43,624
	その他の活動外収入	0	0	0	0	0
	事業活動外収入計	31,419	38,570	29,187	29,379	43,624
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	923	803	4,851	4,608	3,816
	その他の活動外支出	0	0	0	0	124
	教育活動外支出計	923	803	4,851	4,608	3,940
	教育活動外収支差額	30,496	37,767	24,336	24,771	39,684
経常収支差額		△136,132	△277,731	36,953	△1,259	△112,364
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	5,225	0	40	15,750	35,661
	その他の特別収入	6,664	2,098	3,697	5,914	153,670
	特別収入計	11,889	2,098	3,737	21,664	189,331
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	10,337	438,565	1,832	5,501	2,340,676
	その他の特別支出	0	6	16	405,786	355
	特別支出計	10,337	438,571	1,848	411,287	2,341,032
	特別収支差額	1,552	△436,473	1,889	△389,623	△
基本金組入前当年度収支差額		△134,580	△714,204	38,842	△390,882	△
基本金組入額合計		0	△90,559	△370,706	△	△581,161
当年度収支差額		△134,580	△804,763	△331,864	△	△
前年度繰越収支差額		5,933,082	5,872,743	6,163,422	5,865,128	2,726,072
基本金取崩額		74,241	1,095,442	33,570	699	4,737,582
翌年度繰越収支差額		5,872,743	6,163,422	5,865,128	2,726,072	4,618,428
(参考)						
事業活動収入計		2,162,504	2,234,247	2,225,798	2,145,745	2,267,950
事業活動支出計		2,297,084	2,948,451	2,186,956	2,536,627	4,532,015

(イ) 財務比較の経年比較

(単位：％)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費比率	55.0	52.9	52.5	55.4	55.6
教育研究経費比率	40.3	44.9	33.2	33.0	34.7
管理経費比率	10.9	14.4	12.1	11.4	14.9
事業活動収支差額比率	△6.2	△32.0	1.7	△18.2	△99.8
学生生徒等納付金比率	87.5	86.6	86.8	87.3	83.6
経常収支差額比率	△6.3	△12.4	1.7	△0.1	△5.4

③ 資金収支計算書関係

(ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生生徒等納付金収入	1,882,120	1,932,270	1,928,700	1,854,770	1,738,200
手数料収入	16,152	16,282	16,646	15,642	14,155
寄附金収入	7,578	1,658	1,502	2,962	13,299
補助金収入	78,739	82,684	84,018	84,835	84,055
資産売却収入	680,000	1,296,599	500,040	1,485,750	2,196,637
付随事業・収益事業収入	75,562	89,397	88,354	90,031	87,388
受取利息・配当金収入	31,418	38,541	29,188	29,380	43,624
雑収入	64,260	53,452	72,307	47,103	111,139
借入金収入	0	0	940,000	0	0
前受金収入	553,584	528,946	530,440	486,638	509,535
その他の収入	27,395	27,157	59,977	24,021	42,659
資金収入調整勘定	△610,964	△579,798	△555,505	△549,244	△503,150
前年度繰越支払資金	5,820,724	5,676,050	5,545,491	5,222,372	2,400,715
収入の部合計	8,626,568	9,163,238	9,241,158	8,794,260	6,738,256

(単位:千円)

支出の部	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費支出	1,177,743	1,185,891	1,161,744	1,167,371	1,153,234
教育研究経費支出	665,312	816,123	555,532	484,862	409,504
管理経費支出	208,845	296,013	245,328	224,006	261,977
借入金等利息支出	923	803	4,851	4,609	3,816
借入金等返済支出	39,996	39,996	174,316	174,276	174,276
施設関係支出	44,582	15,690	1,110,890	2,623,340	396,396
設備関係支出	36,776	33,267	23,152	126,133	80,773
資産運用支出	777,739	1,483,246	500,715	1,672,909	759,195
その他の支出	97,230	78,312	323,215	87,776	204,349
資金支出調整勘定	△98,628	△331,594	△80,957	△171,737	△70,212
翌年度繰越支払資金	5,676,050	5,545,491	5,222,372	2,400,715	3,364,948
支出の部合計	8,626,568	9,163,238	9,241,158	8,794,260	6,738,256

(イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,117,883	2,174,085	2,190,025	2,092,381	2,034,937
教育活動資金支出計	2,051,899	2,296,333	1,961,027	1,877,030	1,824,775
差引	65,984	△122,248	228,998	215,351	210,162
調整勘定等	△23,981	236,517	△239,937	61,112	△85,926
教育活動資金収支差額	42,003	114,269	△10,939	276,463	124,236
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	6,528	1,658	1,542	2,962	1,568,299

施設整備等活動資金支出計	81,358	48,957	1,134,042	2,761,023	477,109
差引	△74,830	△47,299	△1,132,500	△2,758,061	1,091,190
調整勘定等	0	0	0	0	0
施設整備等活動資金収支差額	△74,830	△47,299	△1,132,500	△2,758,061	1,091,190
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	△32,827	66,970	△1,143,439	△2,481,598	1,215,426
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	2,447,414	3,111,580	3,149,158	3,277,545	711,687
その他の活動資金支出計	2,559,261	3,309,109	2,328,838	3,617,604	962,880
差引	△111,847	△197,529	820,320	△340,059	△251,193
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△111,847	△197,529	820,320	△340,059	△251,193
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	△144,674	△130,559	△323,119	△2,821,657	964,233
前年度繰越支払資金	5,820,724	5,676,050	5,545,491	5,222,372	2,400,715
翌年度繰越支払資金	5,676,050	5,545,491	5,222,372	2,400,715	3,364,948

(ウ) 財務比率の経年比較

(単位：％)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教育活動資金収支差額比率	0.4	3.8	△1.9	11.7	△7.5

(2) その他

① 資産運用の状況

(ア) 資産運用方針

- ・運用は安全を第一とし、かつ有利に運用することにより、経営上必要な収益及び長期的な資産形成を図ることを原則とする。
- ・運用は元本が確保された運用を基本とする。また、利回りについても確定利付きを原則とし、投機性のあるものは避けるものとする。
- ・運用の利回りについては、取引時点だけの利率に捉われることなく、過去からの推移及び将来の見通しについても十分留意しなければならない。
- ・運用にあたっては、資金計画または資金繰り表に基づき、運用すべき期間及び金額について十分な見通を立て、資金繰りに支障のないよう努めなければならない。
- ・運用に際しては、複数の金融機関等と取引を行い、常に安全性に配慮しなければならない。

(イ) 運用資産の概況(令和7年3月31日現在)

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	1,190,000,000	1,145,844,500	△44,155,500
投資信託	101,373,831	124,777,082	23,403,251
合計	1,291,373,831	1,270,621,582	△20,752,249
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	1,291,373,831		

② 寄附金の状況

(ア) (7次) 寄附金募集要項

目 的	東京呉竹医療専門学校、横浜呉竹医療専門学校及び大宮呉竹医療専門学校の施設設備の拡充並びに教育研究環境の維持向上
-----	---

使 途	教育研究用施設設備取得費及び教育研究費
募集目標額	金 1 億円
募集区域	全国
募集対象	卒業生、在校生の父兄及び本法人関係先（但し、入学に関する寄附金は含まない）
募集期間	令和 5 年 7 月 31 日より 5 年間

(イ) 募集実績

令和 5 年度 5,533,851 円（他、現物寄附 2,571,651 円）

令和 6 年度 13,299,000 円（他、現物寄附 1,643,032 円）

③ 補助金の状況（令和 6 年度）

（単位：円）

区分	東京呉竹医療	横浜呉竹医療	大宮呉竹医療
修学支援授業料等減免補助	11,634,000	18,625,000	19,177,300
運営費補助金・環境整備	200,000	16,038,654	10,304,800
物価高騰対策支援金 他	75,322	79,000	40,000
合計	11,909,322	34,742,654	29,522,100

④ 収益事業の内容

名 称 呉竹メディカルクリニック

所在地 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-185-1

（診療科目） 内科

整形外科

リハビリテーション

皮膚科

損益計算書の状況と経年比較

（単位：千円）

科目	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
売上高	121,795	128,323	120,726	129,960	120,617
売上原価	238,212	258,955	249,557	252,516	237,563
原材料費	29,600	27,516	24,266	23,590	20,403
労務費	155,108	174,063	158,345	161,923	166,602
経費	31,172	40,081	48,348	44,902	26,637
外注加工費	22,332	17,295	18,598	22,101	23,920
営業外収益	212	6,269	1,935	599	1,030
営業外費用	0	2	7	1	0
経常利益	△116,205	△124,365	△122,903	△122,958	△115,914
特別損益	0	0	△4,383	598	△1,823
当期純利益	△116,205	△124,365	△127,286	△122,360	△117,737